



古石

後援会だより

URL: <http://古石.com/>

第 3297号
発行令和2年8月
古石ひでさと後援会事務所
岩見沢市橋向南1条1丁目
TEL 26-2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail: furuishi@gray-plala.or.jp

GoTo高まらぬ需要

政府の観光支援事業「Go To トラベル」への逆風が強まっている。「新型コロナウイルス流行の収束を待つべきだ」との反対論を振り切り7月22日に始まったものの、その後、感染は全国に再拡大。都道府県をまたぐ、お盆の帰省に加え旅行を控えるよう求める自治体が相次いでいる。国内の旅行意欲は高まらず、政府が目指した旅行需要のV字回復にはほど遠い。

(山田素史、長谷川紳二)



利用希望わずか18%

感染リスクの高い地域は避けて。愛知、岐阜、三重の東海3県の知事は7日、お盆休みを前に各県民へ移動自粛を促す「共同メッセージ」を出した。独自に緊急事態宣言を出した愛知県の犬伏知事はテレビ会議で「大変厳しい状況。3県が同じベクトルで対策を出すのは有意義だ」と述べ、危機感を共有した。「Go To」は感染リスクが突出する東京都のみを対象地域から外したが、東京以外の往来自粛を求める自治体も相次ぐ。群馬県の山本一太知事は6日の記者会見で「ラスター」の発生を以て一気に病床需要が増える可能性もある」として、東京に加え新たに大阪、愛知、福岡など8府県との

都道府県をまたぐ旅行などの移動に対する自治体の対応

北海道	感染が拡大している地域への往来は「慎重に判断して」と呼び掛け
秋田県	首都圏や中京圏、関西圏、北九州圏、沖縄県などを中心に県外との往来自粛を県民に要請
群馬県	東京、愛知、大阪、福岡など9都府県への不要不急の移動を極力控えるよう県民に呼び掛け
静岡県	東京、愛知、大阪の3都府県への移動回避を県民に要請。岐阜、熊本、宮崎、沖縄の4県との往来も「特に慎重な行動を」と警戒
愛知県	6日に独自の緊急事態宣言を発令。24日まで不要不急の行動や県境をまたいだ移動自粛を県民に呼び掛け
三重県	3日に緊急警戒宣言を発令。県民に東京、愛知、大阪、福岡、沖縄5都府県などの繁華街への移動自粛を要請



GoTo高まらぬ需要

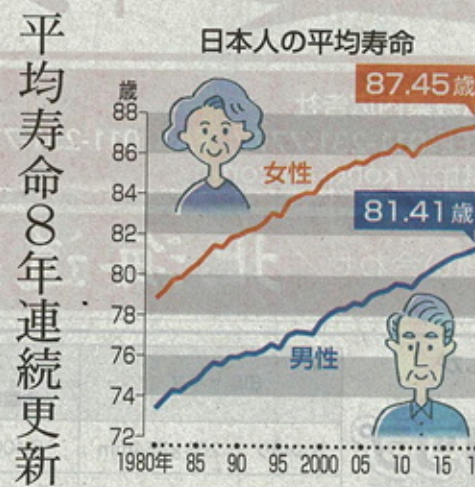
収束待たずに開始

感染拡大各知事「移動控えて」

移動も控えるよう訴えた。厚生労働省によると、7月30日〜8月5日の人口10万人当たりの新たな感染者数は沖縄県が都道府県別で最多の30・21人。東京は17・41人と2番目に多いが、愛知で14・38人、大阪で14・37人と続いた。岐阜県の「Go To トラベル」を推進する政府の姿勢は変わらない。赤羽一嘉国土交通相は7日の記者会見で、除外地域の追加は検討しないと発言。「感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る難しいが取りが求められている」とし、旅行

2019年の日本人の平均寿命は女性が87・45歳、男性が81・41歳となり、ともに過去最高を更新したことが、厚生労働省が発表した簡易生命表で分かった。前年に比べ、女性は0・13歳、男性は0・16歳伸び、いずれも8年連続のプラスとなった。女性は5年連続で世界2位、男性は3年連続で3位だった。

女性87.45歳、男性81.41歳



平均寿命8年連続更新

2019年の日本人の平均寿命は女性が87・45歳、男性が81・41歳となり、ともに過去最高を更新したことが、厚生労働省が発表した簡易生命表で分かった。前年に比べ、女性は0・13歳、男性は0・16歳伸び、いずれも8年連続のプラスとなった。女性は5年連続で世界2位、男性は3年連続で3位だった。

厚労省は平均寿命が延びた背景について「健康意識の高まりや医療技術の進歩がある。今後も緩やかに延びていくのではないかとしている。主な国・地域の平均寿命は、女性の1位が香港(88・13歳)で、3位はスペイン(86・22歳)。男性も1位は香港(82・34歳)、2位はスイス(81・7歳)だった。同省の試算では、19年に生まれた日本人で75歳まで生きる人の割合は女性が88・2%、男性は75・8%。90歳までの割合は女性が51・1%、男性が27・2%だった。

2020年交通死

北海道69人(昨年同期69人) 2日午前0時現在

がんや心疾患、脳血管疾患で死亡する確率は、女性が計44・72%で、男性は計49・62%。どちらも減少傾向があり、男性で50%を切ったのは03年の調査開始以来初めて。これらの病気による死亡がゼロになったと仮定すると、平均寿命は女性で5・45歳、男性で6・65歳延びるとした。

読経をネット中継、DVD配布…

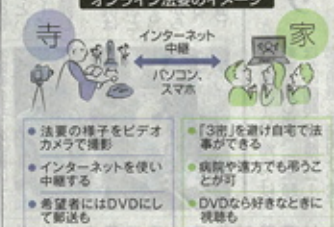


ビデオカメラの前で法要を行う大真真隆住僧。札幌市北区の天童寺。

新型コロナウイルスの感染拡大で、法要にも参加の者が減っている。大真真隆住僧は「3密」を避けるため、読経をインターネットで中継したり、DVDにして信者に送ったりする寺院が増加。高野町が「モニター越しでも法要を受けたい」という声に応じ、読経の様子をネット中継している。

法要のカタチ 寺院模索

遠方、入院中でも供養可



法要の様子をビデオカメラで撮影し、インターネットを使い中継する。希望者にはDVDにして郵送も。

新型コロナウイルスの感染拡大で、法要にも参加の者が減っている。大真真隆住僧は「3密」を避けるため、読経をインターネットで中継したり、DVDにして信者に送ったりする寺院が増加。高野町が「モニター越しでも法要を受けたい」という声に応じ、読経の様子をネット中継している。

札幌の宿泊施設 進む「価格破壊」

集客減で40~60%値下げ 「GoTo」などで割引

札幌市内で今夏、宿泊施設の「00円(通常8千円)で泊まれ」で使える1泊3千円分のクーポンが「Go To トラベル」に込められ、専用サイトでのみ受け付けられているが、既にかなり予約されている。一方、ホテル業界では「Go To」による通常価格の35%分の(2800円)の割引と、6千円以上の宿泊料金から一律40~60%値下げしている。その結果、予約が伸び、飲食店など「泊まるほど得」になる施設は

1泊200円プランも

少なくないという。京王プラザ以外でも、7日時点で「JRNイン」や「東横INN」系列の一部で、千円台の格安プランがわずかながら残っている。だが、夏期とクーロン配布は8月末で終了する。道内ホテルチェーンの担当者「今の異常な安さに慣れきった消費者が9月以降も泊まってくれるのか」と頭を悩ませる。民泊観光協会の南野代表理事は「夏期は市民が地元で泊まるきっかけになった」と強調し、制度の延長を期待している。(堀田昭一、榎本雅也)